

1

見よ私は新しいことをする

見よ 私は新しいことをする
 今もうそれが起ころうとしている
 荒野に道を荒地に川を 荒野に水が川のように

※この地のすべての人々が
 主の御名をあがめる
 この地のすべての人々が
 主の栄誉を宣べ伝える

主に向かって喜び歌おう

主に向かって喜び歌おう
 我らの救いの岩に
 感謝の歌で御前に進み
 賛美をもって主に喜ぼう

※主は大いなる神 すべてにまさって
 主は大いなる神 大いなる王

静まってあなたこそ

静まって あなたこそ神であることを知る ×2

神は我らの避けどころ また力である
 悩める時のいと近き 助けである

今 主を信頼する 山は動き海にうつろうと
 あなたの御手の中で 生き続ける命ある限り

今 主を礼拝する あなただけに栄光返し
 あなたの愛に応え 生き続けるすべてを捧げて

なんと素晴らしい

なんと素晴らしいあなたの愛は
 雲より高く天より高く
 ほめよイエスを あがめよイエスを
 この命にまさる 主の愛は

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
 = 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
 = ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

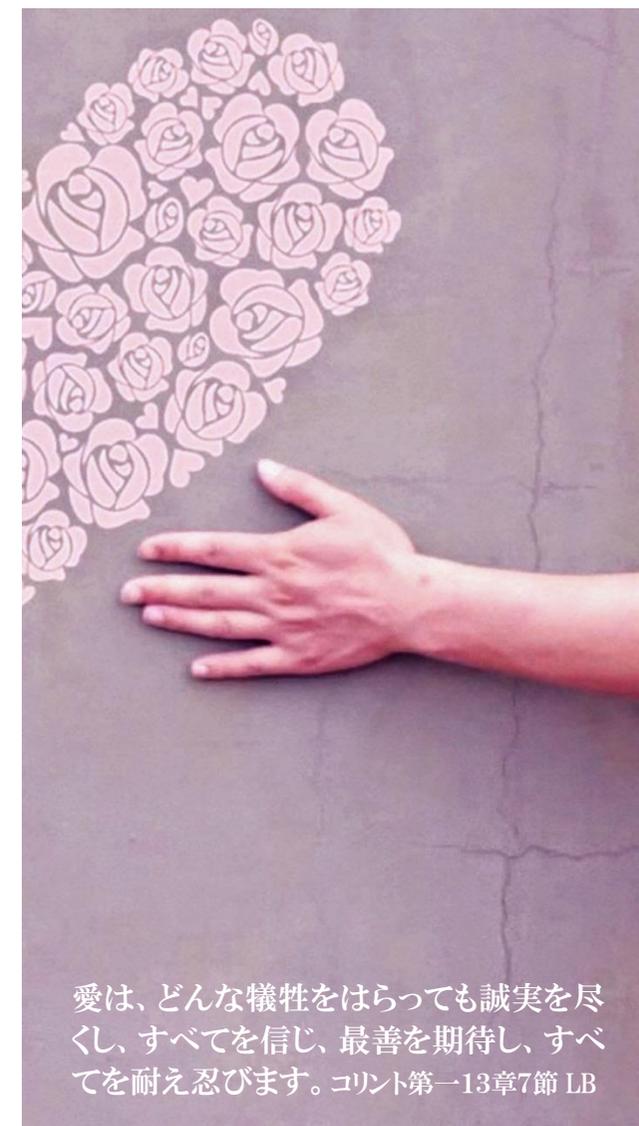
- コロナ禍からの解放・医療従事者と政治判断のため
- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



愛は、どんな犠牲をはらっても誠実を尽くし、すべてを信じ、最善を期待し、すべてを耐え忍びます。コリント第一13章7節 LB

祈りの小径(こみち)

Number: 145 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ピリピ人への手紙3章17～21節

17 兄弟たちよ。どうか、わたしにならう者となつてほしい。また、あなたがたの模範にされているわたしたちにならうて歩く人たちに、目をとめなさい。

18 わたしがそう言うのは、キリストの十字架に敵対して歩いている者が多いからである。わたしは、彼らのことをしばしばあなたがたに話したが、今また涙を流して語る。

19 彼らの最後は滅びである。彼らの神はその腹、彼らの栄光はその恥、彼らの思いは地上のことである。

20 しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。

21 彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。



3章21節・岩波書店訳

この彼はすべてのものを彼に従わせることのできる力によって、私たちの卑賤のからだを(も)、彼の栄光のからだと同様な形(共なる形)に変容して下さるであろう。

卑賤

1) 身分や地位が低いこと。2) 蔑むに値し、品格が低いとして粗末な扱いを受ける有様。穢けがらわしいこと。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説

ピリピ人への手紙3章を三回にわたって学んできました。今日はその三回目。ここまで、パウロ先生は、①いままで大事だと思ってきたこと(a. 家系の誇り b. 正統派である誇り c. 働きの誇り d. 道徳的誇り)は、肉を頼みとしてきたことであり、「キリストを知る絶大な価値」によって、価値観が変えられたこと…を証して、②自分はこの「キリストを知る」ことのために、後ろのものを忘れ(過去に執着せず)、前に向って身体を伸ばし、キリスト(とその栄冠)を目指して走り続ける「この一事に努めて」いくんだと語りました。

そしてこの章の後半である今日のテキストで、パウロ先生は、「こういう私に倣って生きてほしい」と懇願しています。私だけでなく、こういう生き方をしている私たちに倣って生きている人たちがいることを知ってほしい。その生き方を生き写しなさい！(17節)

なぜなら…と言って大きく2つのことを語ります。

(1) 十字架に敵対して歩いてしまわないように。

その生き方の最後は「滅び」である



十字架に敵対する生き方とは

(ピリピ書+パウロ書簡を総合して)

A. 律法主義(律法を守ることで救われる・割礼)

B. 放任主義(罪赦されたから何をしてもいい)



この生き方は、自分自身を神とし、地上のことと思いが一杯で、結局最後は恥で終わると警告しています。

(2) しかし、私たちは、この地上に生きていながら国籍は天にあります。その生き方の特徴は…

A. イエス様が再び来られるのを切望している

B. 私たちがイエス様と同じ栄光の姿に変えられること(完全な贖い)を切望している

C. 万物はキリストによって従う時(神の統治)が来ることを知っている。→忍耐をもって主に従って生きる人は必ず報いられる日が来るのです！アーメン